

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム かえで

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 02 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者の入居年数が長くなるにつれ、家族の面会も少なくなってくるので、職員は家族と話す機会を設け、人間関係を築き、家族がホームに訪れることが、負担にならないように配慮し、悩みや相談にも乗れる関係を構築していく。	ホームでの行事を、家族が参加可能な曜日に設定し、家族同士で話す機会をつくり、食事会等(利用者が日頃食べている料理)を開催し、家族同士で、同じ思いや悩み、心配事等を話し合い、家族間の交流を図り、ホーム便りの内容も検討していく。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい	地域福祉の相談窓口として、運営推進会議等を通じて地域交流を図り、地域の高齢化のアドバイザーとして、地域住民と信頼関係を築き、地域福祉事業の拠点を目指していく。	職員が積極的に地域の行事に参加して、協力し、高齢者の悩みや、相談等を積極的に聴き取り、行政と協働で解決にむけて支援し、地域住民から、ホームの存在感と信頼を得て、地域の一員としての活動に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。